

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1023 号	氏名	田中 健一郎
学位審査委員		主 査	石松 祐二
		副 査	東 登志夫
		副 査	小関 弘展
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、長崎大学を中心に、地域行政、医師会、開業医、保健師などと包括的に取り組んでいる長崎県松浦市における慢性閉塞性肺疾患（COPD）対策事業に関して、事業開始から7年間の取り組みに関して、その有効性を検討したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 COPD 対策事業では初年度の 2006 年に対象住民において簡易質問票やスパイロメータを用いてスクリーニングを行い、COPD 疑いの住民には医療機関受診を促し診断確定に努め、その後も定期的にフォローアップ検診や呼吸器教室開催などを開催し、事業を継続している。今回の研究では、同対策事業開始から7年たった 2013 年に追跡調査を実施し、同事業対策の有効性について、フォローアップ率や禁煙率、肺機能については 2006 年のデータと比較検討し、同事業対策の有効性について具体的に検討できており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、同事業で COPD 確定診断を得た住民の COPD 治療継続率は 74%、喫煙者の禁煙化率は 54%であり、1 秒量の低下も 23.2 mL/年に留まることを見出し、先行研究などと比較して同事業の有効性を明らかにした。これらの結果より、さらに増加することが予想される COPD 対策において同対策事業の展開は大いに期待されることが示唆された。</p> <p>以上のように本論文は COPD に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			